

排せつ介護（紙おむつ）

日時	平成 年 月 日（ ）	天候	
身だしなみ	〇×をつける 実習着（ ） シューズ（ ） 爪（ ） 頭髪（ ）		
目的	排せつ介護の一連の流れを理解する テープ式紙おむつの介助方法を理解し、技術を習得する		
必要物品	テープ式紙おむつ、尿とりパッド、おむつかバー、防水シート、 排せつ用タオル（蒸しタオル、乾いたタオル、手拭きタオル）、バスタオル ゴム手袋（使い捨て）、 陰部洗浄：温湯入りシャワーボトル、洗浄料		

1 テープ式おむつの特徴

- ・寝た状態で交換ができる。
 - 寝たきりの人（重度の人）にとって最低限の力で交換できる。
- ・ギャザーの有無で2つのタイプがある。

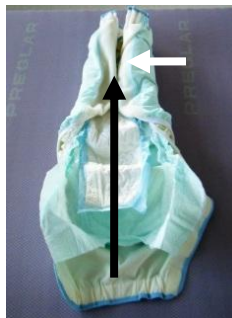
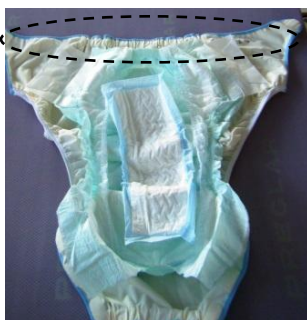
2 おむつのあて方 「山型あて」と「谷型あて」

山型あて：尿道口から尿のあたった接点から、尿を表面に広げず瞬間的にワンポイントで吸収パッド内部に吸い込み、肌から離して固めてしまい逆戻しない。

谷型あて：一度に出る尿が多量の場合、あるいは下痢状の水様便が混ざった場合、肌とパッドの間にできたすき間に尿や便をいったん溜めて、徐々に吸収させるしくみ。

3 排せつの留意点

- (1) プライバシーを保護する。
- (2) 利用者本人の気持ちを尊重する。
- (3) 感染症の予防
 - ア 尿路感染症に気を付ける。
 - イ おむつ交換時には肌の異常に注意する。
 - ウ 陰部を清潔に保つ。
 - エ 介護者は排せつ介護の前・後には、手指をきちんと洗う。
 - オ 手袋の使用をする。



チェックリスト・自己評価

No.	チェックリスト	自己評価（○△×）
1	利用者に目的を説明し、同意を得たか	
2	必要物品をそろえることができたか	
3	プライバシーの保護に気を付けたか	
4	新しいおむつを片手で持てたか	
5	陰部を蒸しタオルできれいに拭くことができたか	
6	紙おむつのしわを伸ばし、当てたか	
7	おむつの上端を腸骨部に合わせたか	
8	腹部を圧迫しないように当てたか	
9	そけい部を動きやすいようにしたか	
10	おむつカバーからおむつがはみ出していないか	
11	寝衣を整え、安楽な体位にしたか	
12	利用者の手を洗った、拭いたか	

利用者役として感じたこと

感想・反省
